慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	序
Sub Title	
Author	阪埜, 光男(Banno, Mitsuo)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1985
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.58, No.2 (1985. 2) ,p.5- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	林烈先生退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19850228-0005

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

林烈助教授は、本年三月末、定年によりご退職になる。林先生は、昭和二七年四月、法学部に奉職されて以来、三〇有余年の長きにわたって教鞭を執ってこられた。

林先生は、出向先の通信教育部において通信教育のため尽力され、その峻厳にして熱心なご指導は、その円満なご人格ともども教職員・塾生の間に多大の敬愛を集められた。また通信教育部学習指導副主任、同学務委員などを長年にわたって務められ、通信教育部生に与えた教育効果は、はかりしれないものがある。

一方、ご研究の面でも、別に掲げる著作目録にみられるごとく、通信教育に関するものが多いが、内容的には憲法や議会制度について示唆に富む論稿を数多く公にされている。

このように先生は、通信教育を通じて教育・研究の両面において、法学部に多大の貢献をされてきた。このような先生が、また身近な先輩として長いこと親しく接してきた先生が、定年制施行のためとはいえ、ご退職されることはまことに淋しいことであり、惜別の念ひとしおである。

けれども、定年退職とは、完職、すなわち、職務を全うしたことを意味し、世に完職というものは貴く、また畏敬すべきものであることを考えると、これを成しえた先生ご自身にとっては、定年は、むしろ、お慶びでなければなるまい。その意味で学部としては謝恩とともに祝意を表すべきであろうが、しかし、あとに残る者の寂莫感を禁ずるこ

とはできない。

謝恩と惜別と感動と祝意と――そのすべての思いをこめて、この記念号が編まれ、先生に捧げることになったことは慶びにたえない。

林先生が、今後、ますますご健勝にてご活躍くださることを祈念する次第である。

昭和六〇年一月

法学部長　阪　埜　光　男